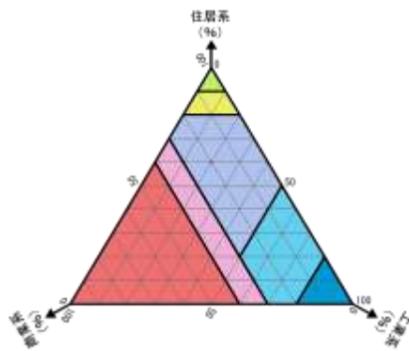
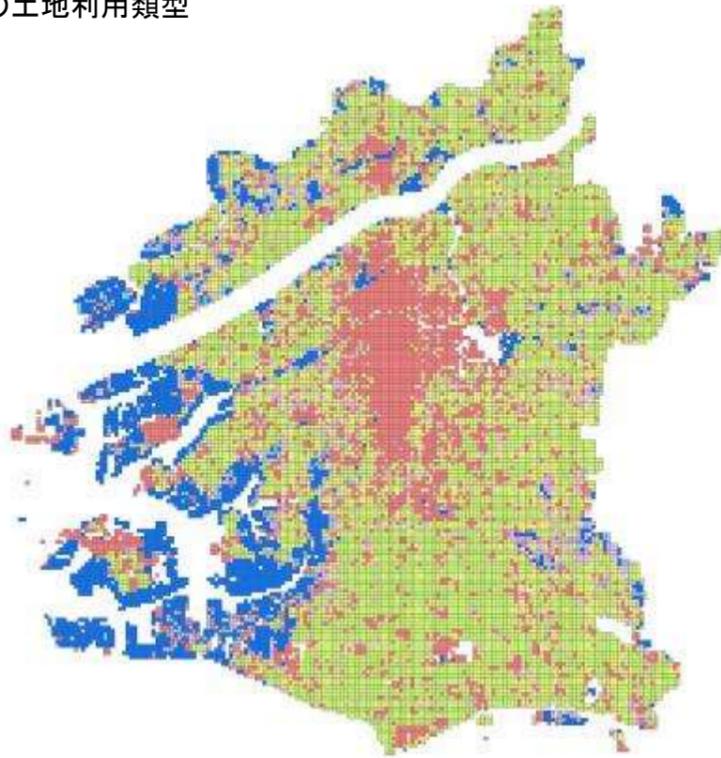


【都市空間の要素：面的な空間要素】

- ・大阪市では、臨海部に工業系用途、都心部に業務・商業系用途が集中しており、周縁部は概ね住居系用途となっている。建築物等の種類や配置、形態等は土地利用に大きく依存するため、これら建築物等が大きな要素となっている景観についても、土地利用類型により大まかな分類ができるといえる。
- ・容積率と敷地規模の分布を見ると、都心部の業務・商業系用途が集中するエリアでは容積率が高くなっている。一方、臨海部については、周縁部と同等程度の容積率にも関わらず、大規模な敷地規模が分布している。
- ・詳細な建物主用途分布の図では、都心部は業務系用途が卓越する地区と、商業系用途が卓越する地区に分けられることがわかる。

- ・臨海部、都心部、一般市街地部で基本的な土地利用の構成が異なり、景観の大きな特性も異なっている。
- ・都心部は高密度の建築物群による景観が、臨海部は大規模な建築物や構造物によるダイナミックな景観が、一般市街地部はヒューマンスケールの景観が大きな特性である。
- ・都心部では業務系用途が多い地区と、商業系用途が多い地区ではまちなみの特徴は異なっている。

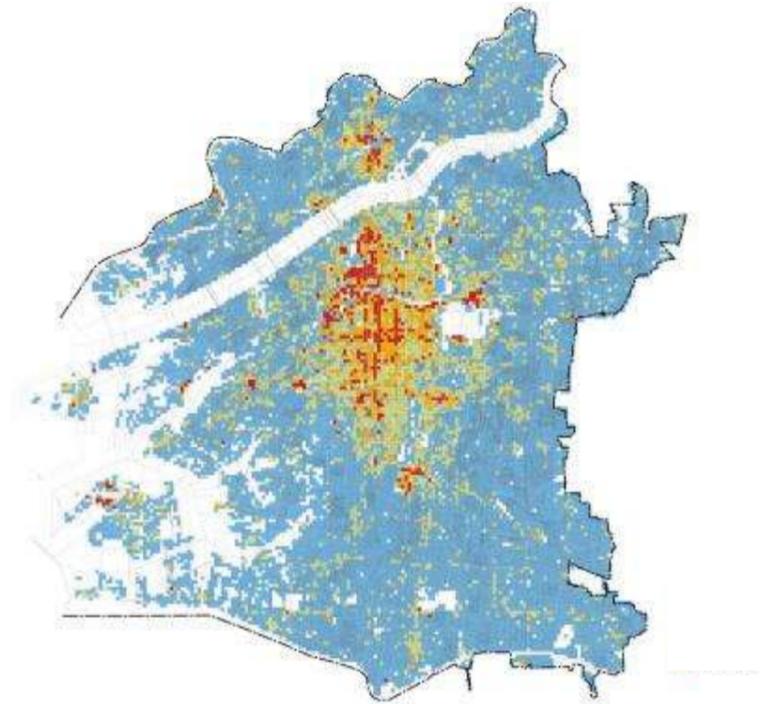
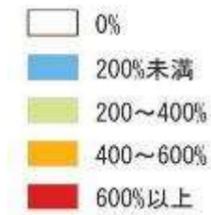
○土地利用類型



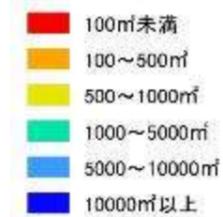
○主用途別建物分布（都心部）



○容積率



○敷地規模



【都市空間の要素：軸的な空間要素】

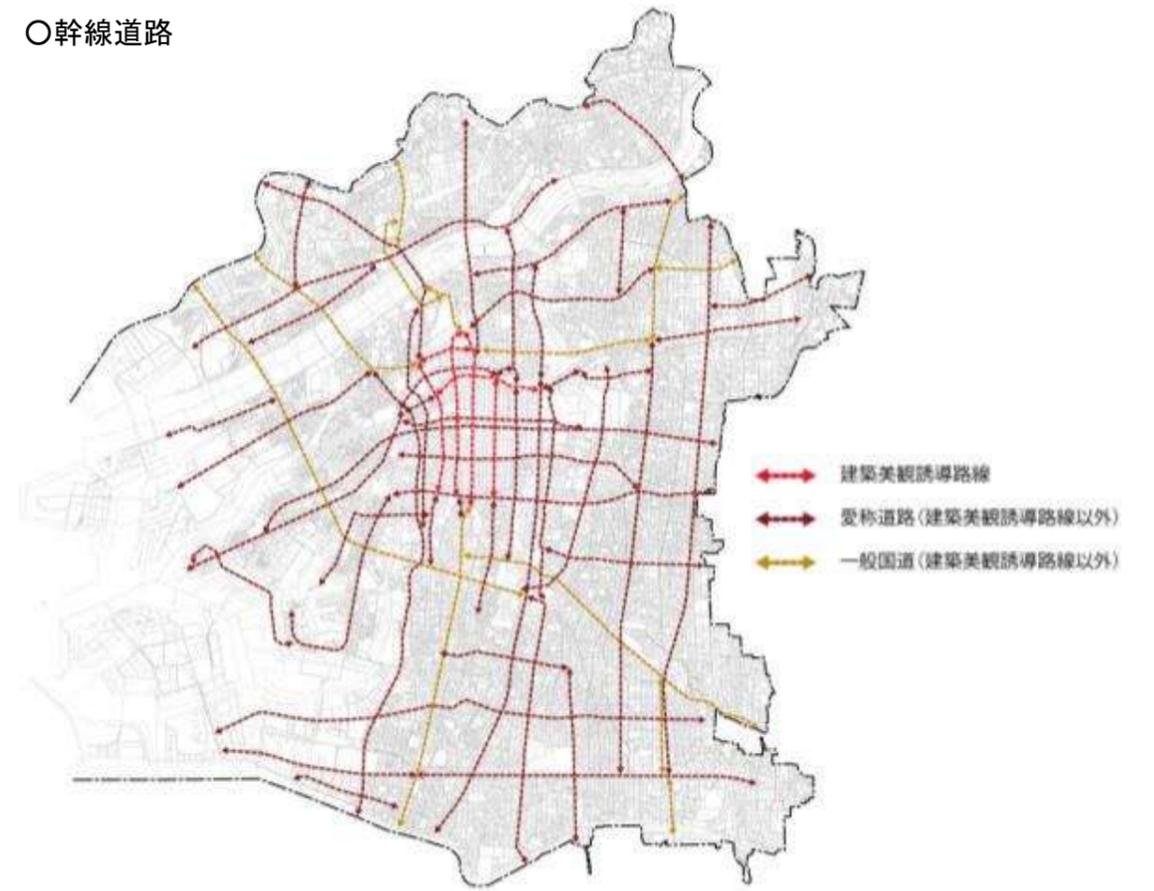
・河川は、まとまりのある景観を区切り、また、沿線に建築物等が連続することで“かわなみ”を形成するとともに、船舶の運航により河川上自体が線状に移動する視点場となりシークエンスに富んだ景観を観測者に提供するなど、景観上骨格的な役割を担っている。

・淀川は、連続する広大なオープンスペースでありパノラマ景観が広がっている。  
 ・大川、安治川などの比較的川幅の広い都市内河川は、連担する市街地内にあつて連続するオープンスペースとして軸的な景観要素となっている。  
 ・堂島川、土佐堀川、東横堀川、木津川（道頓堀川合流部上流）、道頓堀川などの都心部の河川は、沿川の建物がまちなみを形成し、また親水性も高い。

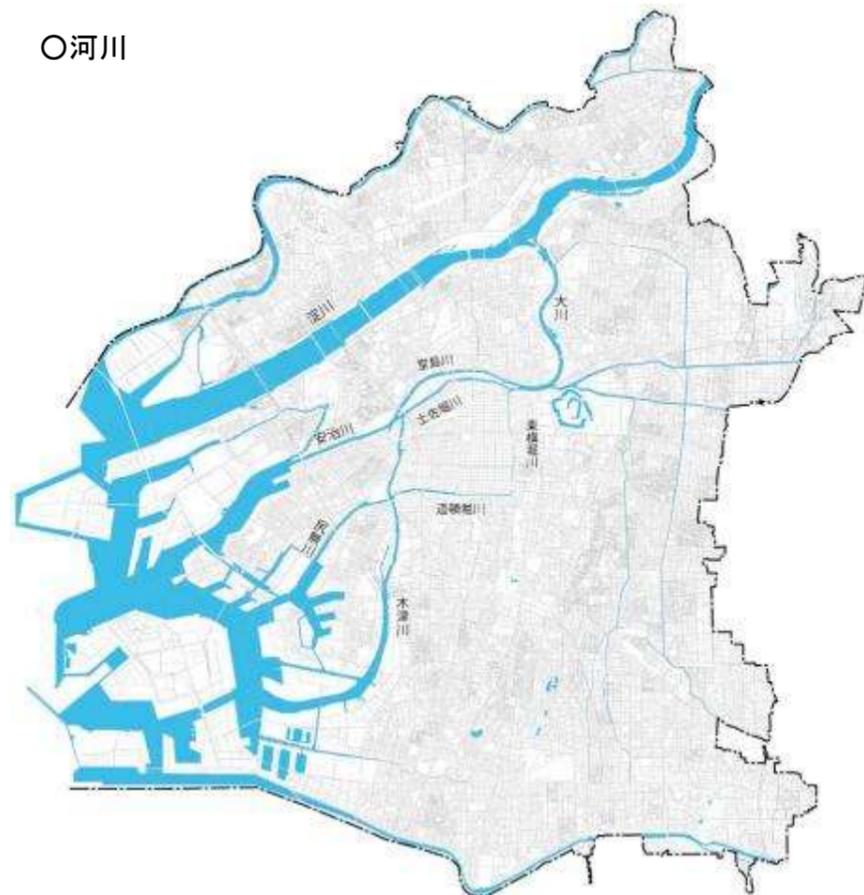
・一般的に、幹線道路沿道では、人通りが多いことから代表的な線状の視点場としての役割を担うとともに、接道する建築物の配置に指向性を生み、ファサードが連続し、広告物が敷地際等に並び、街路樹が連続するなど、列状にまとまりのある景観を形成する。  
 ・本市においては、特に都心部の幹線道路沿道において、比較的高層の建築物が連続し、整った“まちなみ”を形成している。一方、都心部以外の市街地では、幹線道路沿道においても低層の建築物が多く、その景観に連続感や統一感を感じられない。

・都心部の幹線道路は、沿道に建物が建ち並ぶ街路景観を形成し、景観上の骨格となっている。

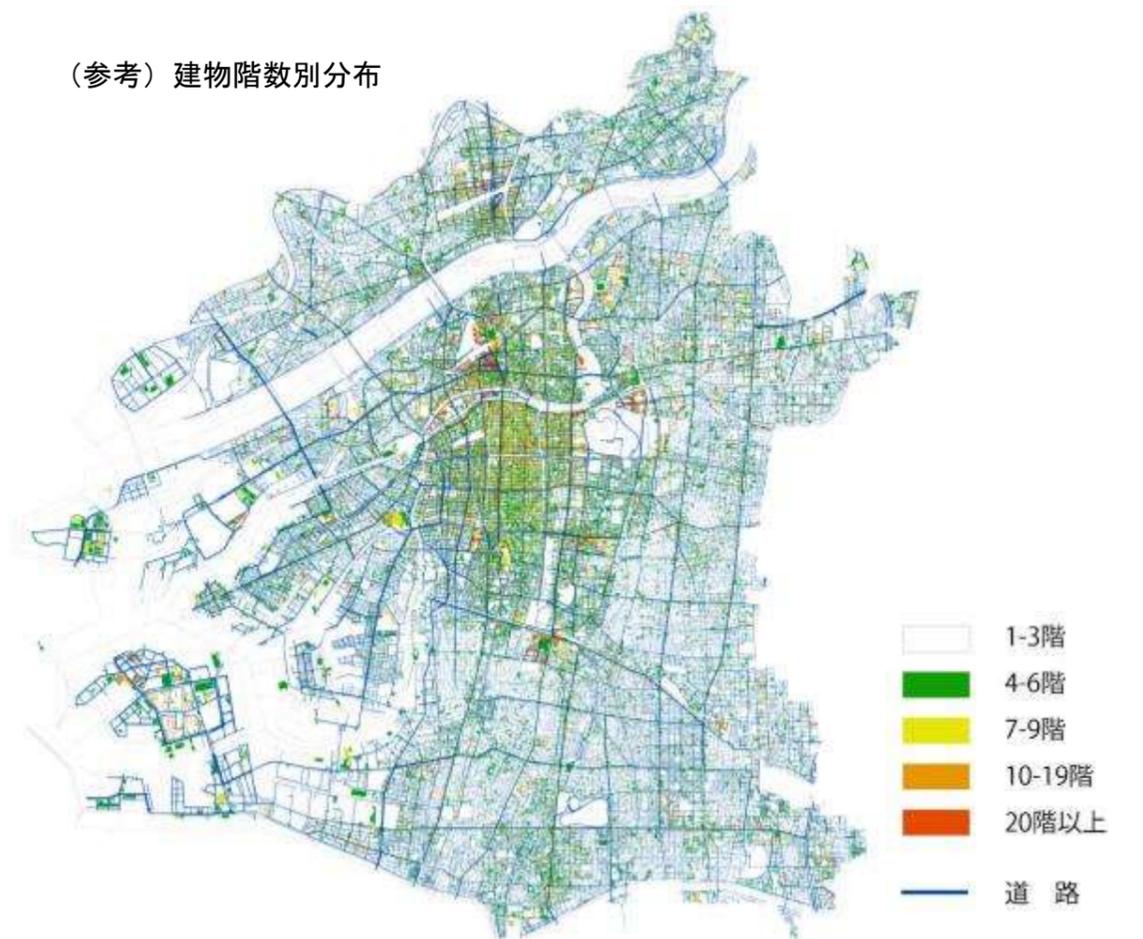
○幹線道路



○河川



(参考) 建物階数別分布

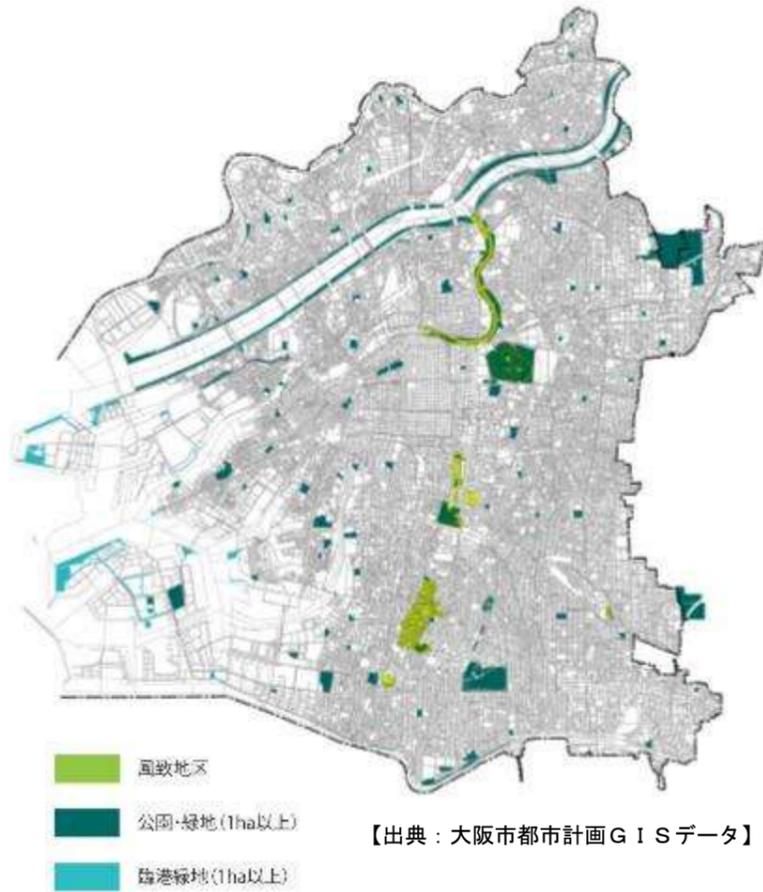


【都市空間の要素：拠点な空間要素】

○みどりの拠点

- ・大川、夕陽丘、大阪城公園などのような風致地区では、豊かな樹木や自然環境が保全されている。また、住吉大社周辺や帝塚山周辺では、緑と調和した住宅地が形成されている。
- ・中之島公園、靱公園、大阪城公園などの一定規模以上の都市公園は、市街地が連担する本市において潤いあるオープンスペースを提供するとともに、視点場となり得る空間である。
- ・舞洲西部の臨港緑地には、特に豊かな緑が見られ、ゆとりある空間を形成している。

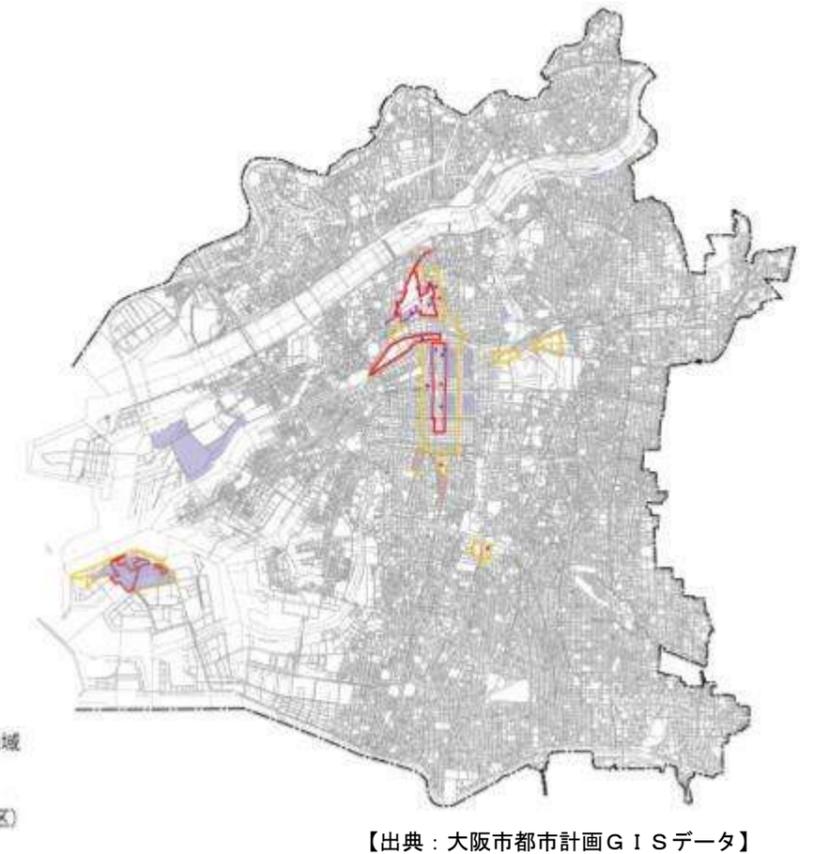
- ・都市公園や臨港緑地などは拠点的なみどりとして、周囲の景観にゆとりと潤いを与えている。
- ・市街地内の風致地区は、建物と緑が調和した特徴的な境界景観を形成している。



○都市開発

- ・大阪駅周辺・中之島・御堂筋周辺地域、大阪ビジネスパーク駅周辺・天満駅周辺地域、難波・湊町地域、阿倍野地域、大阪コスモスクエア駅周辺地域が都市再生緊急整備地域に指定されており、中でも大阪駅周辺、中之島4・5丁目、御堂筋周辺、大阪コスモスクエア駅周辺地域は特定都市再生緊急整備地域となっており、機能の集積等が図られている。

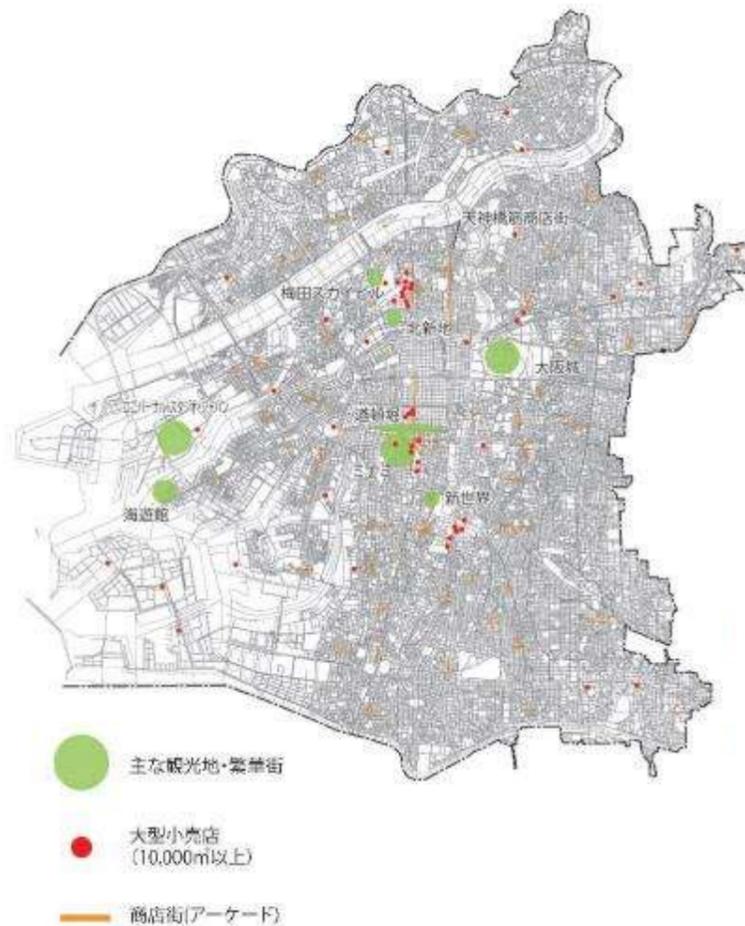
- ・今後、まとまった規模の都市開発が進む地区では、拠点的な市街地が計画的に整備され、計画的な景観誘導の対象となる。



○にぎわいの拠点

- ・大規模な小売店舗は大阪駅周辺、ミナミ、天王寺・阿倍野駅周辺に多く見られる。
- ・商店街については、駅等の周辺に多く分布している。
- ・市内に点在する観光地のうち、海遊館などは、集客拠点として、周囲へにぎわいを波及することで、地区一体で観光地として雰囲気を感じられる。
- ・道頓堀、新世界などは、観光地と繁華街の側面が見られる。

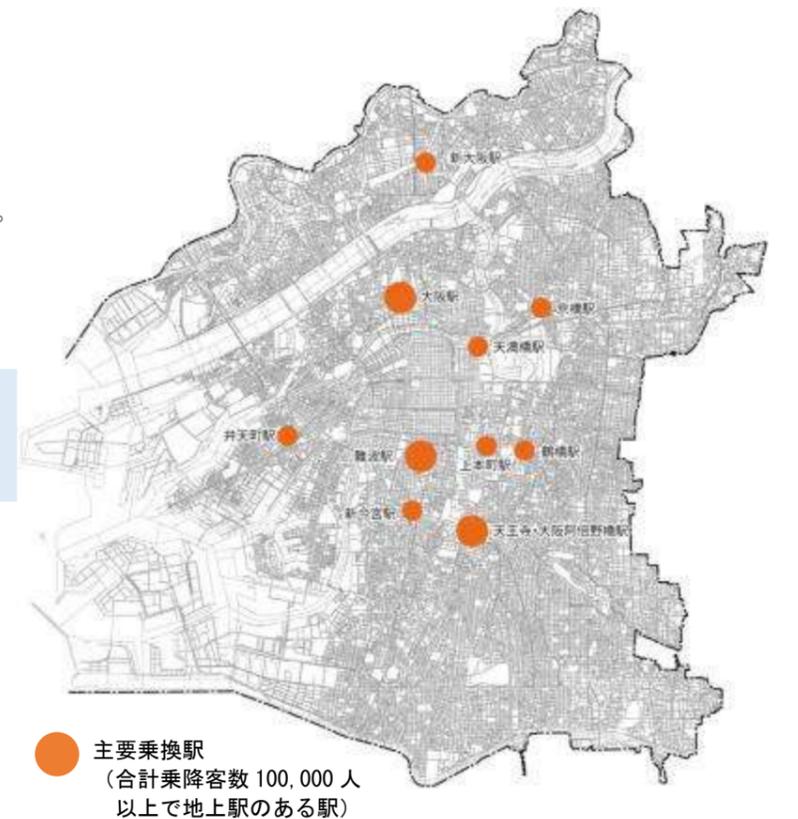
- ・主な観光地や繁華街となっている地区や商業集積のある地区では、多くの人々でにぎわう境界景観が形成されている。



○主要鉄道駅

- ・市内でも特に乗降客数が多い主要鉄道駅は、交通の結節点であるとともに、多数の市民や来街者が行き来するにぎわいの拠点となっている。
- ・また、その利便性から周囲の土地は、高度化が進んでいる。

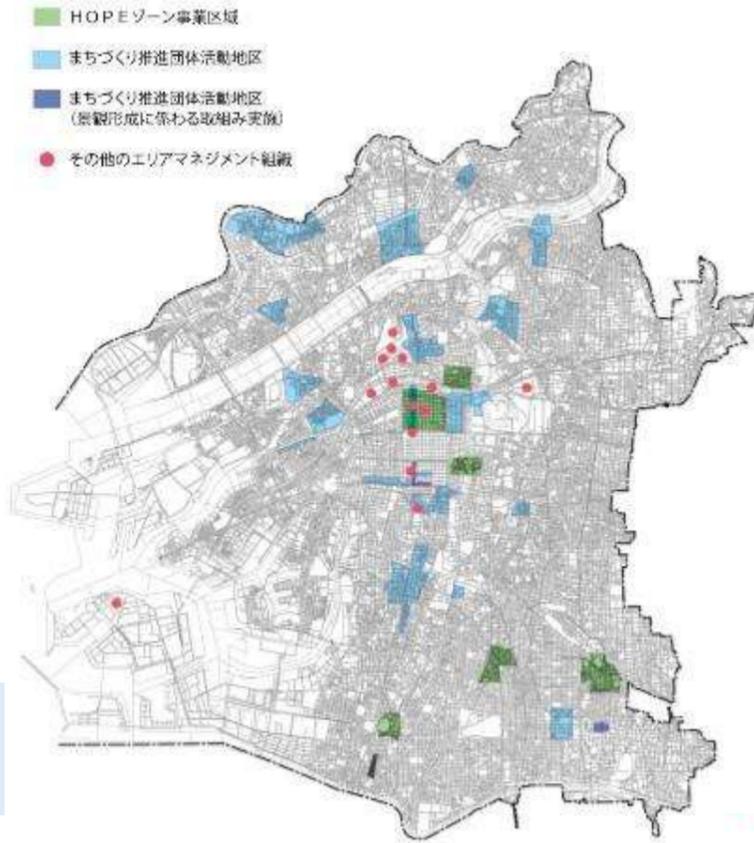
- ・主要鉄道駅周辺は、都市の玄関口であり多くの人の目に触れることから、計画的な景観誘導の必要性の高いエリアである。



【活動・営みの要素】

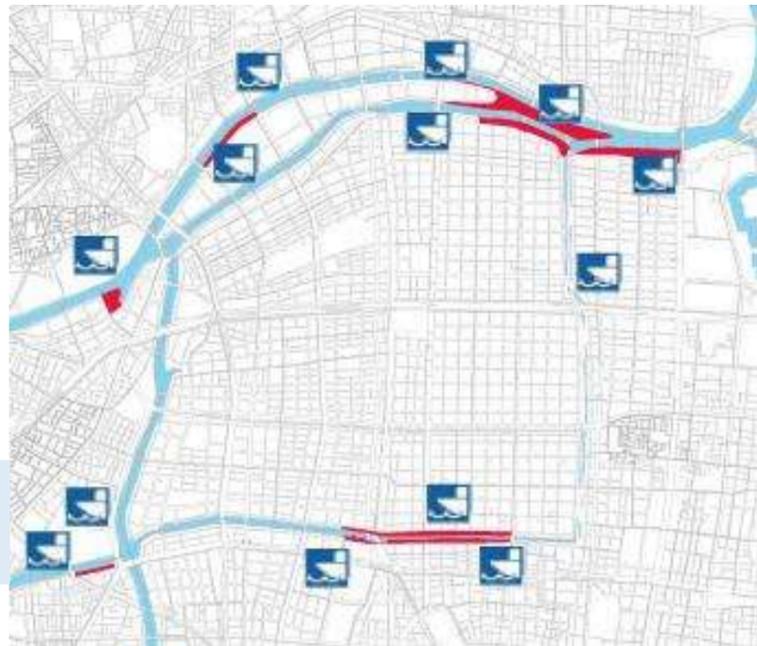
○まちづくりの取り組み

- ・心斎橋筋や宗右衛門町では、景観形成に係わる地域主導のまちづくりが行われ、景観協定や地区計画が定められている。
- ・HOPEゾーン事業として、伝統的なまちなみが残されている地域において、建物等の修景等がなされている。
- ・船場では、観光魅力向上のための歴史・文化的まちなみ創出事業が実施されており、一部の道路において道路の美化や電線地中化が進められている。
- ・グランフロントTMOやOBP開発協議会など、都心を中心に地権者やテナント、居住者により地域の価値向上を図るエリアマネジメントの活動が近年見られる。
- ・まちづくりの取り組みのある地区では、それぞれの地区の実情に応じた取り組みの中で地域主導の景観形成が進められている。



○水辺の魅力向上

- ・都心部にロの字に流れる川（堂島川・土佐堀川、木津川、道頓堀川、東横堀川）からなる水の回廊を有するまちの特徴を活かし、府民・市民・観光客が、水辺で食、イベント、景観等を年間通じて楽しむ。また、中之島、大阪城、道頓堀など大阪を代表する観光スポットをクルーズ船で巡ることができ、「水都大阪」をめざして、ハード・ソフトの整備が進められている。
- ・水辺での様々な取り組みにより水都大阪を象徴する水辺景観の形成が進められている。

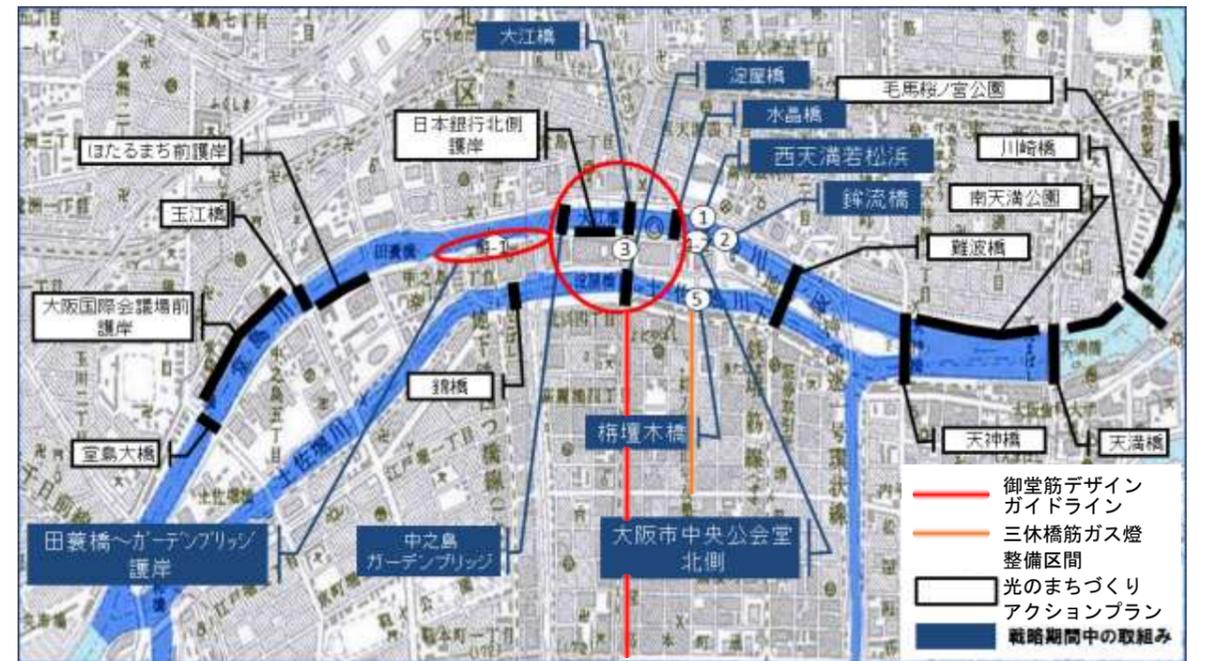


- : 水辺の魅力スポット (河川の規制緩和を活用した都市地域再生等利用区域における水辺のレストランや川床等)
- 🚢 : 船着場 (公共船着場及び定期クルーズ就航民間船着場)

○光景観の創出

【ライトアップ等の取り組み】

- ・土佐堀川、堂島川及び大川（天満橋周辺）において、橋梁や護岸、公園等の公共施設のライトアップが行われており、夜間においても水辺のにぎわい景観が形成されている。
  - ・御堂筋（土佐堀通～長堀通）では、御堂筋デザインガイドラインにより夜間景観の誘導がなされており、夜間においてもメインストリートとしての風格やにぎわいの様相が見られる。
  - ・民間によるものとしては、三休橋筋においてガス灯が整備されるなどの取り組みがなされており、船場地区の夜間景観を演出している。
- ・中之島周辺の水辺などでの取り組みを中心に印象的な夜間景観の演出が図られてきている。



中之島橋梁群と護岸の整備



スカイラインを形成し都市魅力を高める光のランドマーク（御堂筋）



大阪を代表するにぎわい光環境



三休橋筋のガス灯整備



船場地区・地域組織によるライトアップ（近代建築のNW）